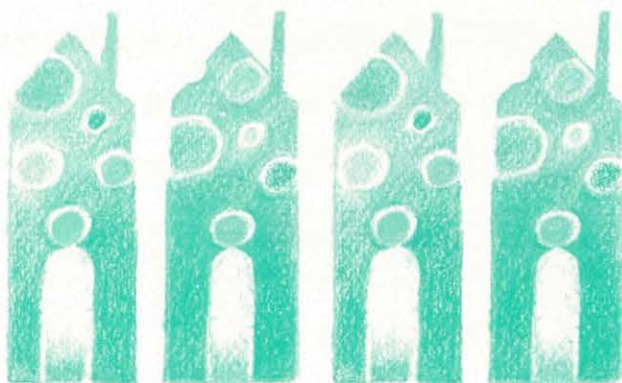


第4章

資料

- ① 計画参考資料
- ② 男女平等関連年表
- ③ 久留米市男女平等を進める条例
- ④ 久留米市男女平等政策会議設置規程
- ⑤ 久留米市における審議会等への女性の登用促進要綱
- ⑥ 久留米市の男女共同参画推進体制(図)
- ⑦ 男女共同参画社会基本法(抄)
- ⑧ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(抄)
- ⑨ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(抄)
- ⑩ 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律(抄)
- ⑪ 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律(抄)
- ⑫ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章
- ⑬ 女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約(抄)



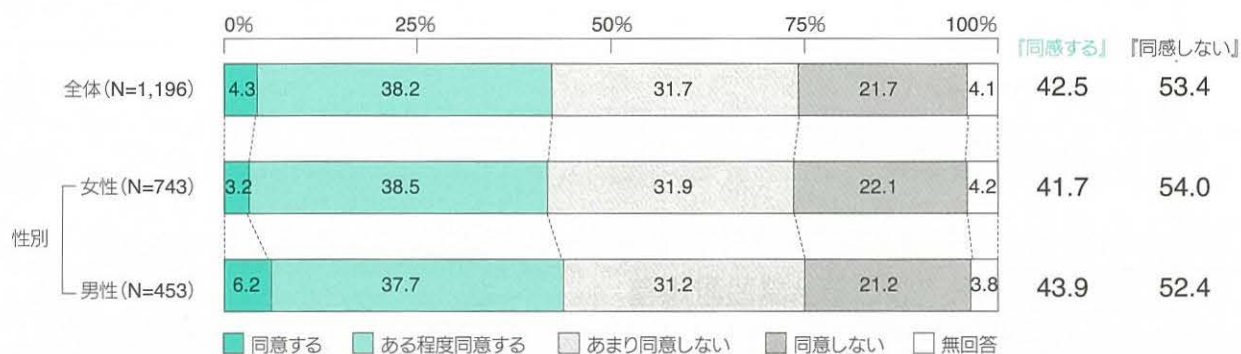
1 計画参考資料

施策の方向 Ⅰ 人権尊重のための男女平等の意識づくり

施策 1・・・男女平等意識の啓発

図-1 固定的性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」という考え方）について

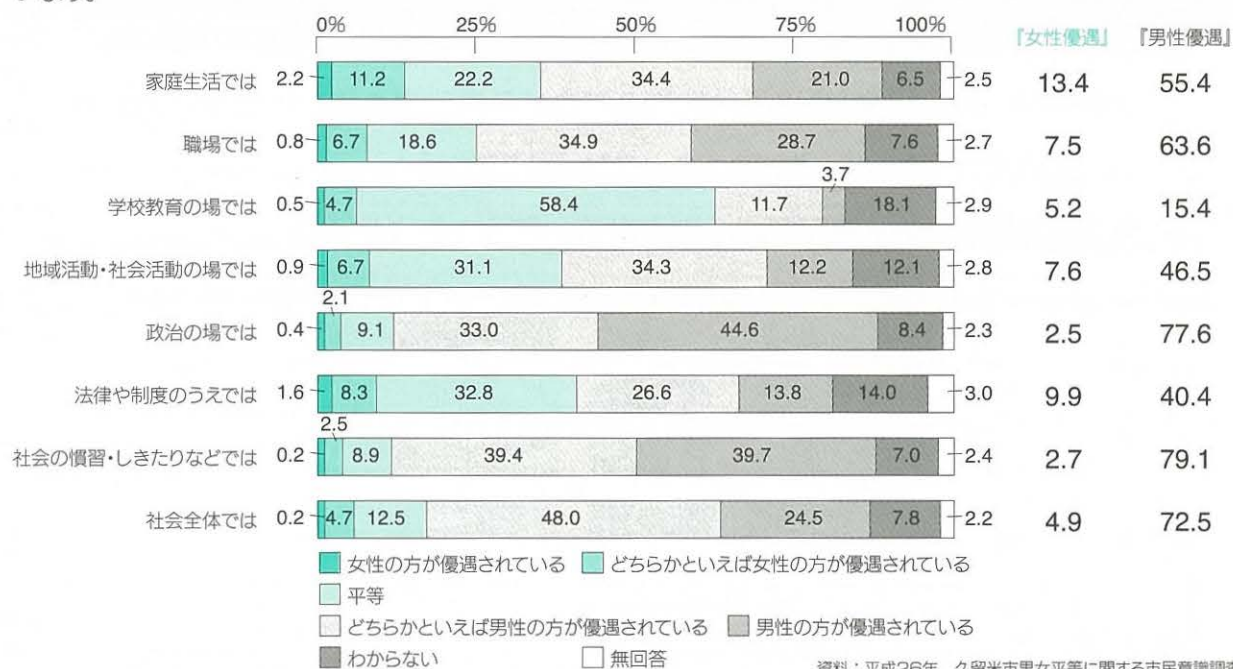
「同感しない」「あまり同感しない」を合わせた『同感しない』は5年前の46.5%から6.9ポイント増え、「同感する」「ある程度同感する」を合わせた『同感する』を上回りました。また、『同感しない』は男性も5割を超え、女性との差はあまりありません。



資料：平成26年 久留米市男女平等に関する市民意識調査

図-2 さまざまな場での男女の地位の平等感について

「社会の慣習・しきたり」や「政治の場」では、「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性の方が優遇されている』と感じている人が7割を超え、「社会全体」でも同様に感じていることが分かります。「学校教育の場」を除き、まだ社会は男性優位であることを示しています。



資料：平成26年 久留米市男女平等に関する市民意識調査

施策 2 ■ ■ ■ 男女平等の視点に立った教育の実践

図-3 子育てについての考え方について

女の子に対しては「経済的自立」と「生活技術（家事）の習得」で差は見られませんが、男の子に対しては、「経済的に自立」をより強く求めていることがうかがえます。男の子の育て方に、性別役割分担意識が反映される傾向がみえます。

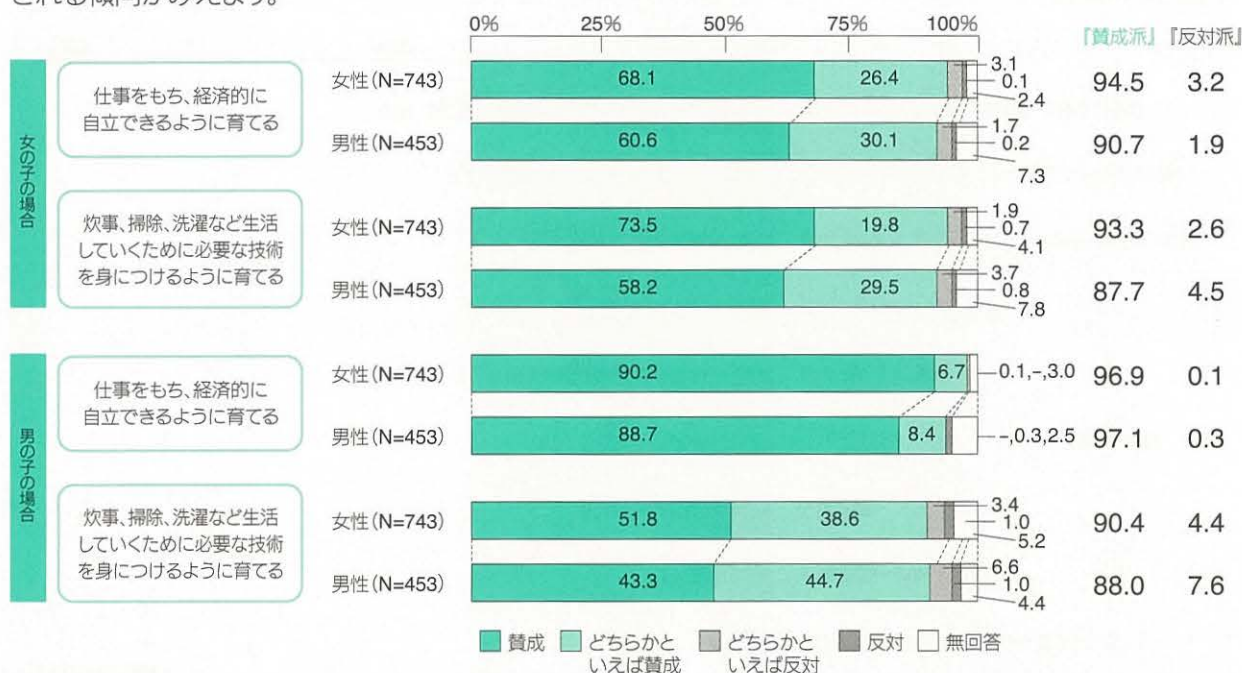
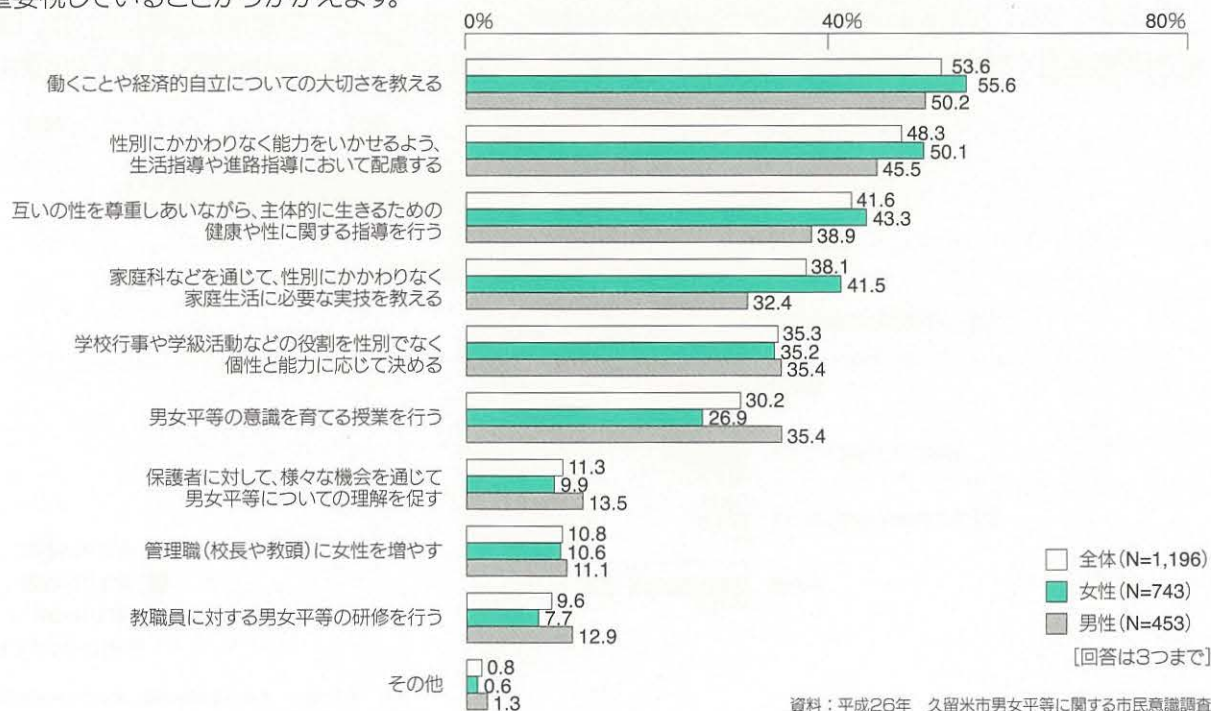


図-4 学校教育で重要なことについて

これからの社会で男女共同参画を進めていくために、学校教育の場でどのように力を入れたらよいか尋ねました。男女平等について直接教えることよりも、日常の教育の中に男女平等の視点を入れることを重要視していることがうかがえます。



施策 3・・・女性に対するあらゆる暴力の根絶

図-5 セクシュアル・ハラスメントの経験について

この5年間のセクシュアル・ハラスメントを受けた経験を尋ねたところ、全体の29.4%が経験があると答えています。性別では女性は39.3%、男性は13.3%と、女性は男性の約3倍の人が経験があると答えています。

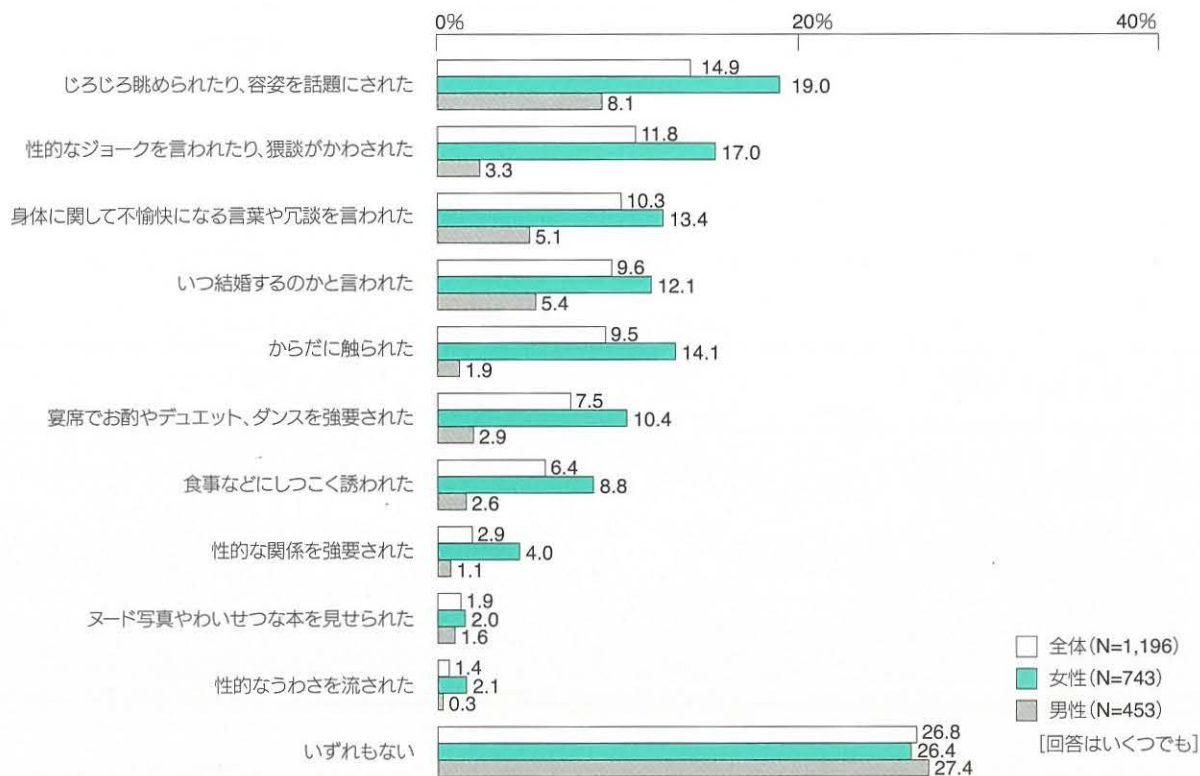


図-6 セクシュアル・ハラスメントが起きた場所について

「セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある」と回答した人のうち、どこで起きたか尋ねました。「職場で」が最も高くなっていますが、地域やスポーツや趣味の場、学校など、生活の様々な場面で起きています。

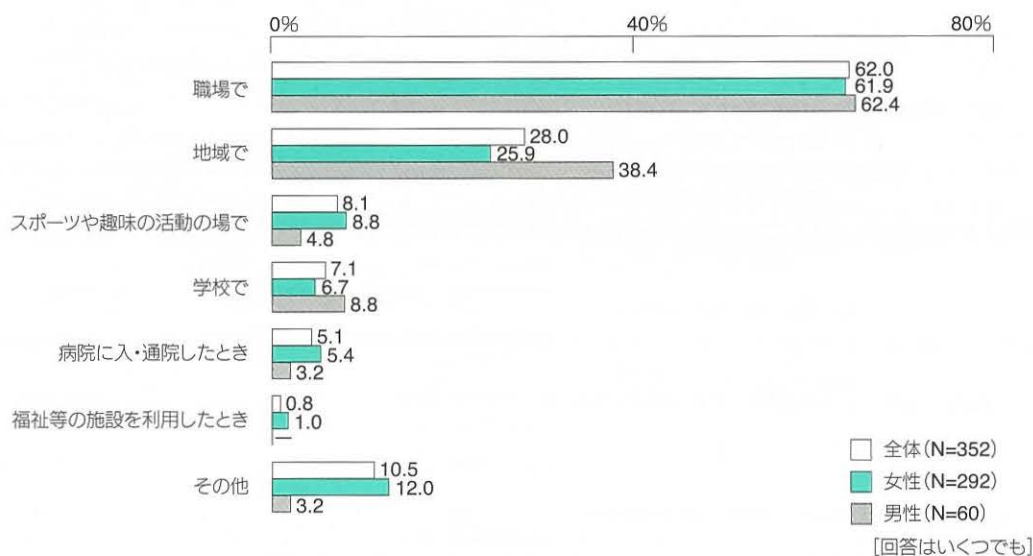
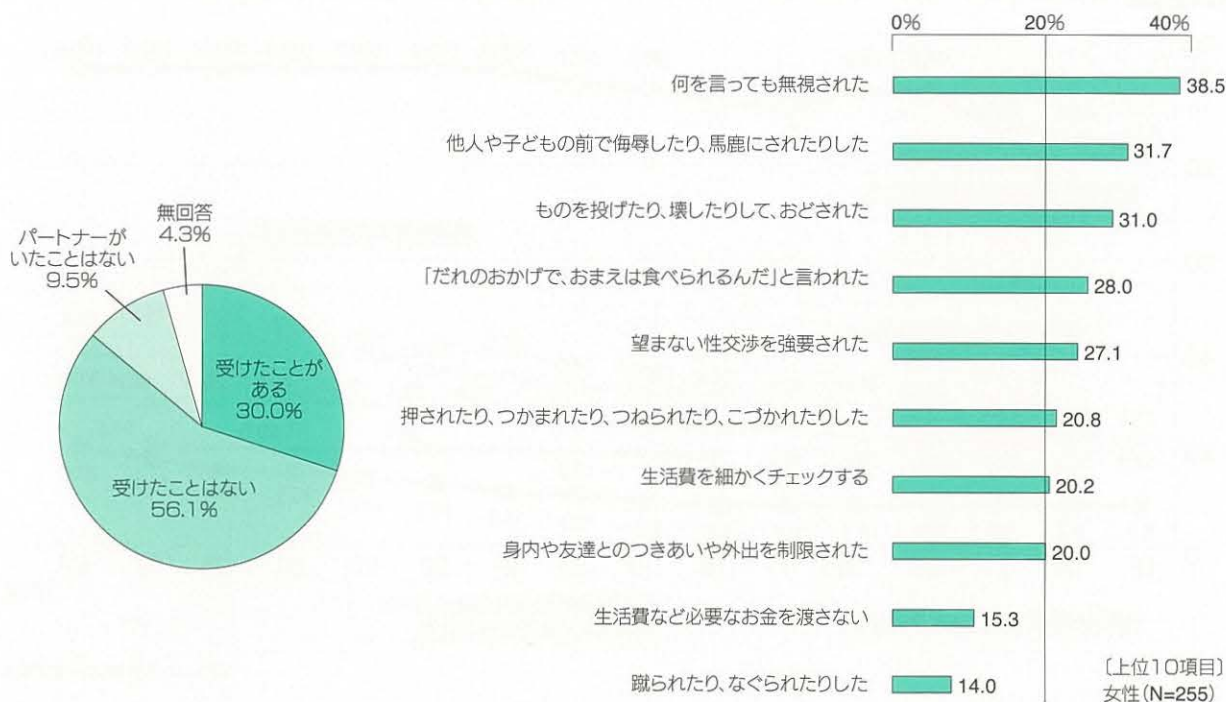


図-7 ドメスティック・バイオレンスの経験について

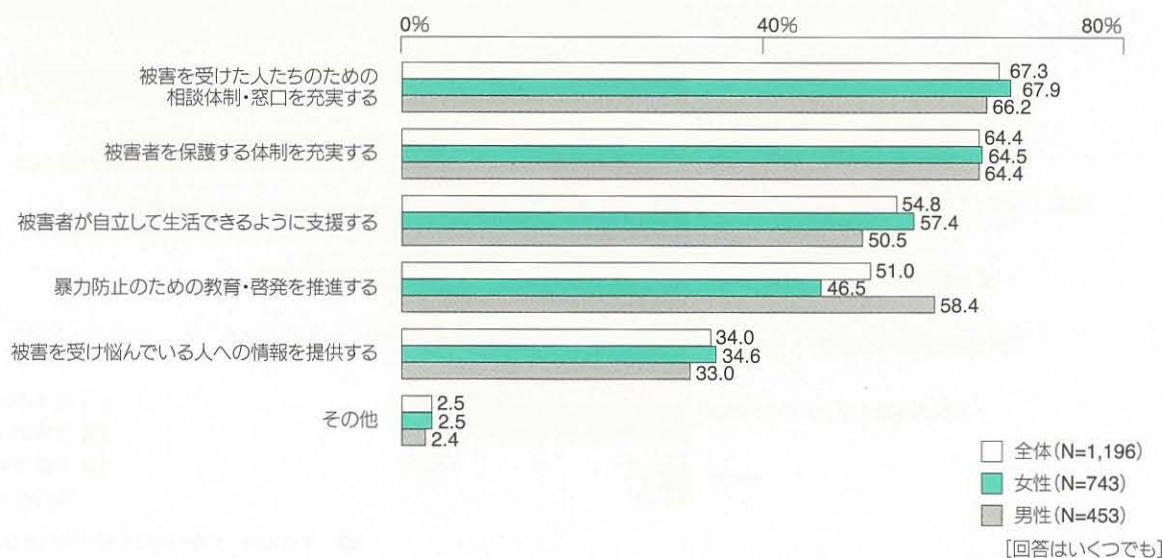
この5年間に配偶者・パートナーから暴力を受けた経験がある女性は30%と、3人にひとりが何らかの暴力を受けた経験があると答えています。



資料：平成26年 久留米市男女平等に関する市民意識調査

図-8 女性に対する暴力根絶のための取り組みについて

女性に対する暴力をなくすためには、どのようにしたらよいか尋ねました。5年前の調査と比べると、各項目の順位は変化がないものの「暴力防止のための教育・啓発を推進する」割合が34.5%から51.0%に大幅に増えています。

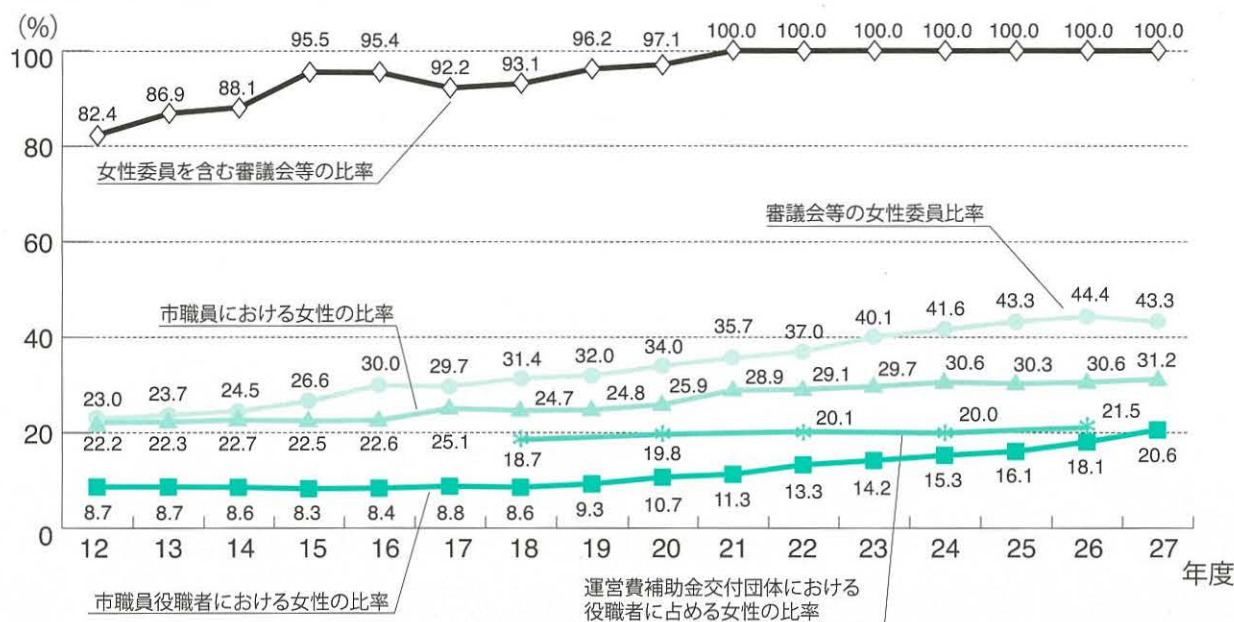


資料：平成26年 久留米市男女平等に関する市民意識調査

施策の方向 II あらゆる分野における女性の活躍の推進

施策 1 政策・方針決定過程への女性の参画の促進

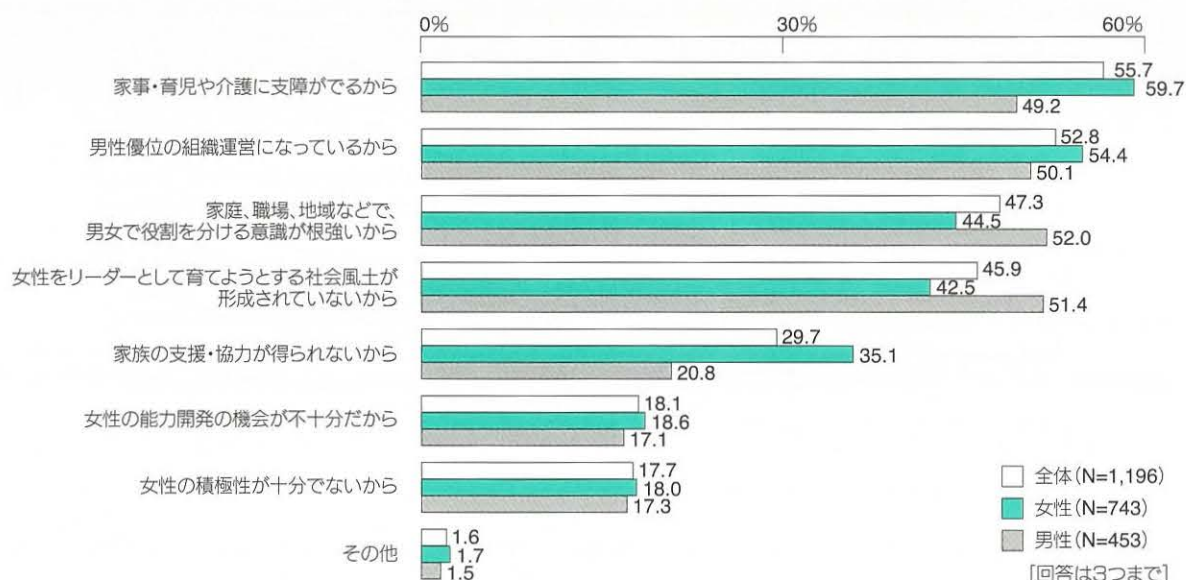
図-9 審議会(法律・条例・設置要綱等によるもの)・市職員における女性の比率等について



資料：久留米市男女平等政策課

図-10 政策・方針決定の過程に女性が進出していない理由について

「家事・育児や介護に支障」と「男性優位の組織運営」がら割を超えています。「家族の支援・協力を得られない」は女性の方が、「女性リーダーを育てる社会風土が形成されていない」は男性の方が大きく上回っています。女性は家族との関係、男性は慣習を課題と認識しているようです。



[回答は3つまで]

資料：平成26年 久留米市男女平等に関する市民意識調査

施策 2・・・雇用の分野における男女共同参画の促進

図-11 職場における女性の就業環境について

職業（収入のある仕事）について、勤め人と回答した人に職場の女性にあてはまることがあるか尋ねました。

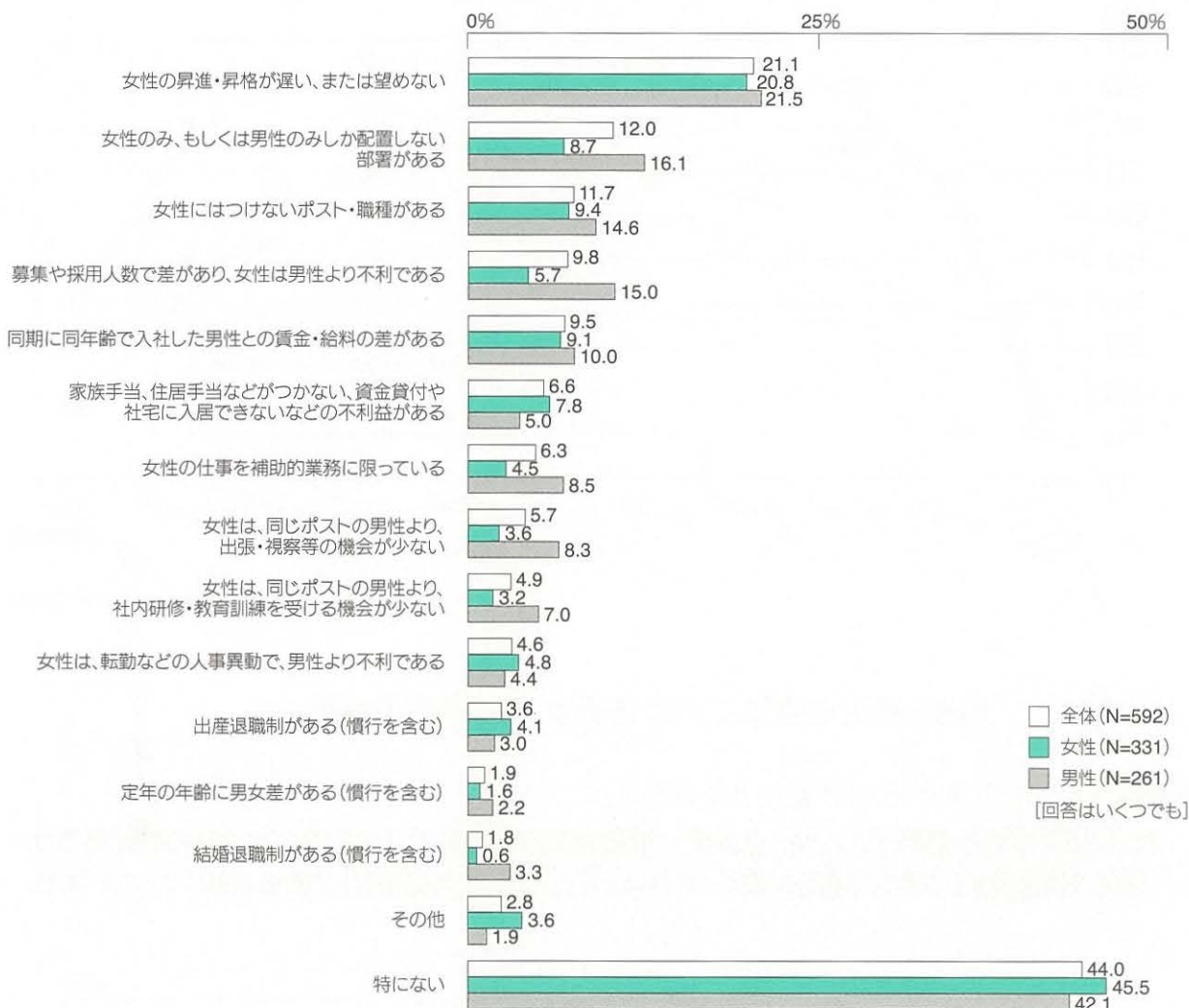


図-12 雇用形態について

※市内の国・地方公共団体を除く民営事業所における雇用者の雇用形態

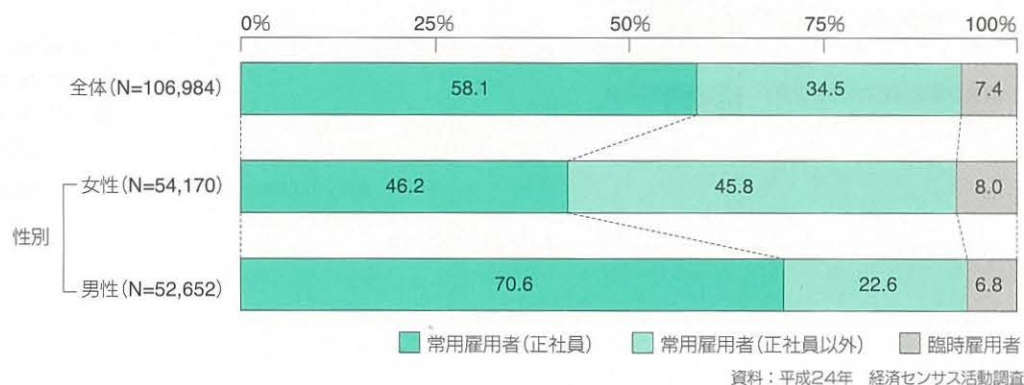
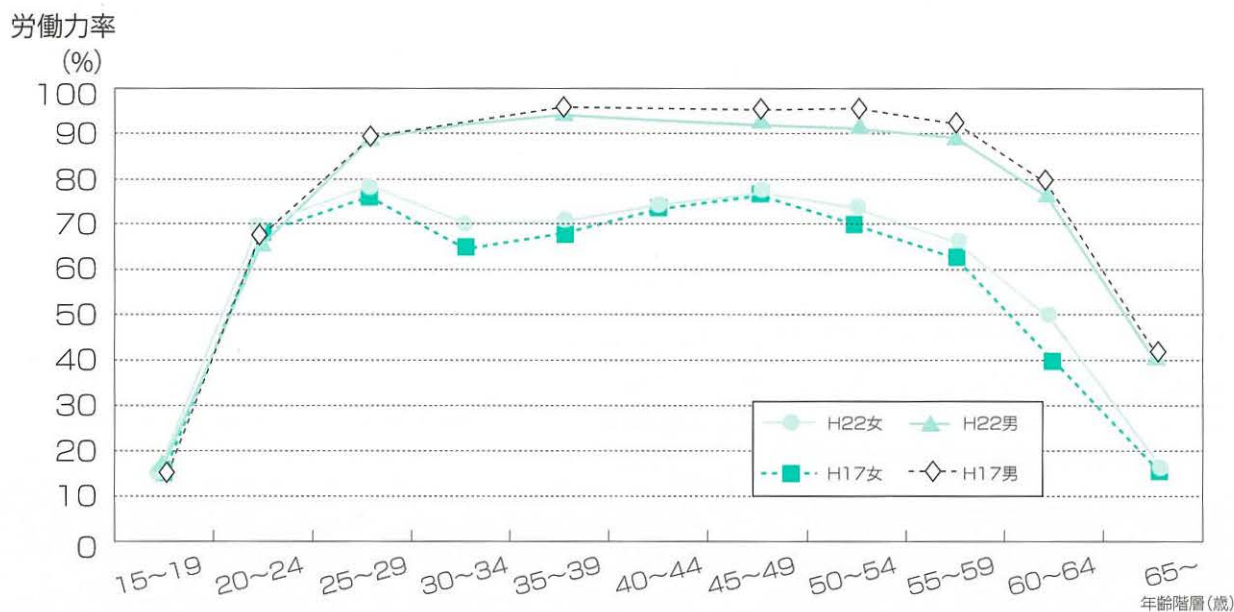


図-13 労働力率について(久留米市)

本市の女性の年齢階級別労働力率は、結婚、出産、子育て期に低下し、子育てが一段落すると再び労働市場に参入する M 字型となっています。

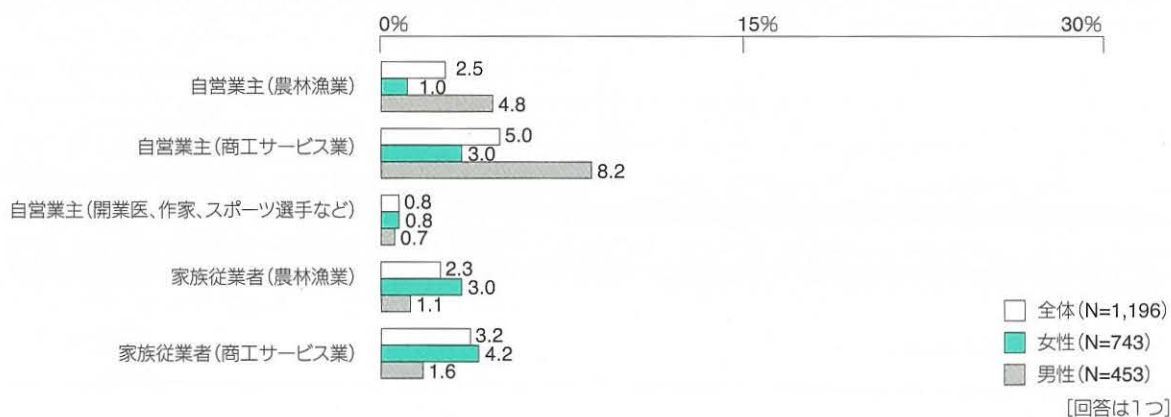


資料：平成22年 国勢調査

施策 3 農業・商工自営業における男女共同参画の促進

図-14 現在の就業状況「自営業主・家族従業者」について

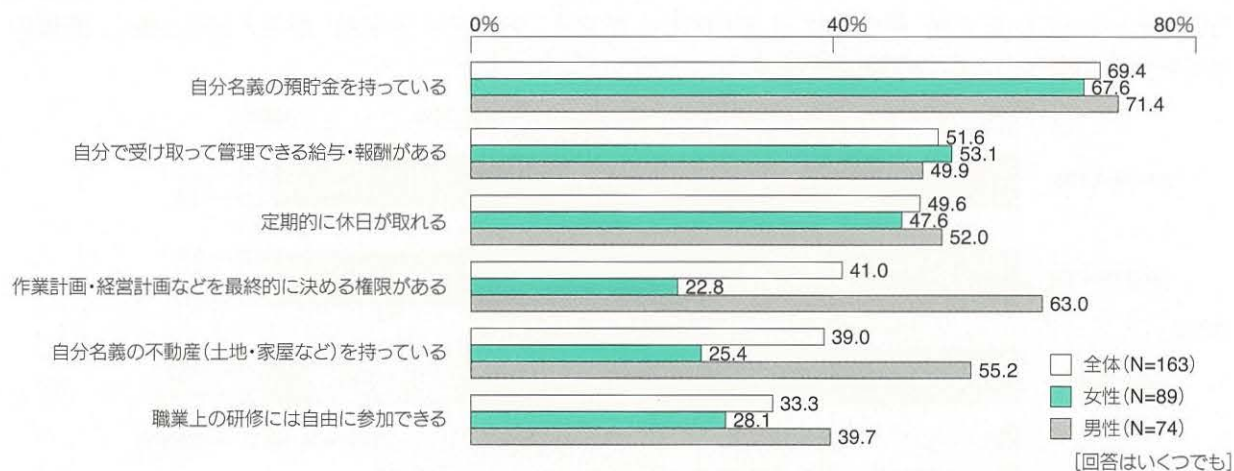
職業(収入のある仕事)について、自営業・家族従業者と回答した人の割合です。農林漁業、商工サービスの『自営業主』の割合は男性に高く、女性は、それらの『家族従業者』の割合が高くなっています。



資料：平成26年 久留米市男女平等に関する市民意識調査

図-15 自営業の就労状況について

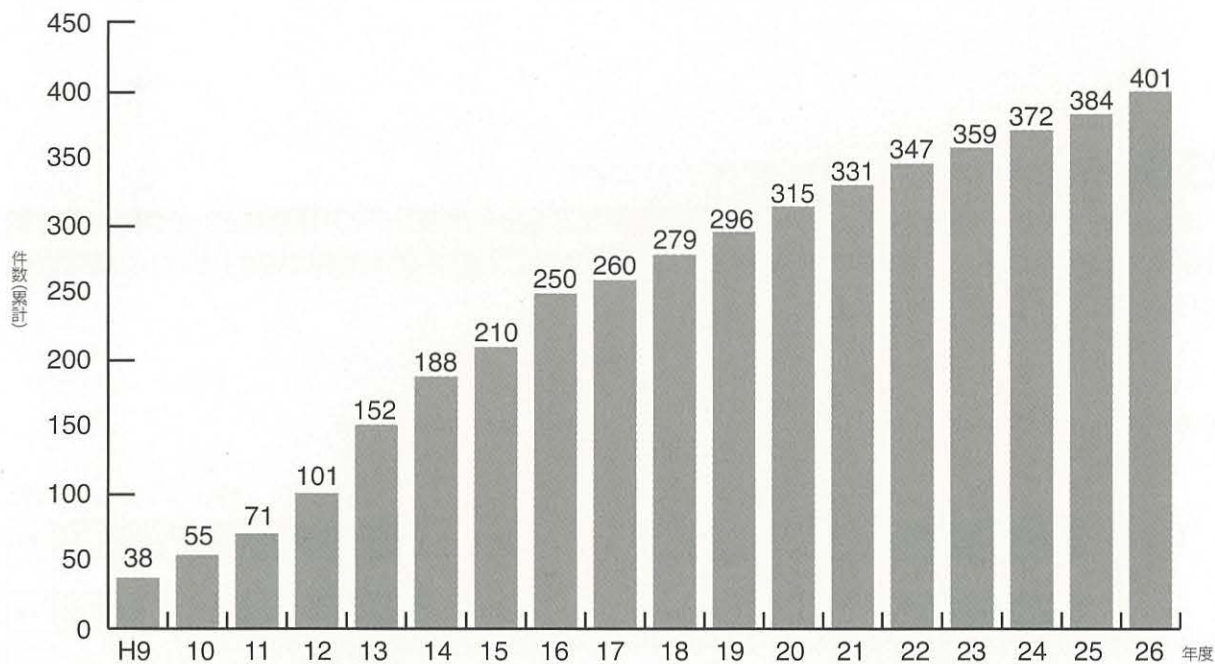
職業（収入のある仕事）について、自営業・家族従業者と回答した人に、就労にかかわる状況を尋ねました。



資料：平成26年 久留米市男女平等に関する市民意識調査

図-16 家族農業経営における家族経営協定締結件数について

家族経営協定は、各世帯員が意欲を持って経営に参画できるように経営方針や役割分担、就業環境などについて家族間の話し合いに基づき、家族内で取り決めるものです。



資料：久留米市農政課

表-1 認定農業者数

	H24	H25	H26
認定農業者数(法人を除く)	860	844	844
うち女性認定農業者数	30	34	35
割合	3.5%	4.0%	4.1%

資料：久留米市農政課

施策 4 ■ ■ ■ 家庭・地域における男女共同参画の促進

図-17 一日のうち、炊事、掃除、洗濯などの時間について

平日に平均して何時間くらい家事をしているか尋ねました。女性の家事時間は『2 時間以上』が 59.5%となっていますが、男性では「していない」が 29.1%、「30 分未満」が 27.8%と高く、家事の多くを女性が担っていることがわかります。

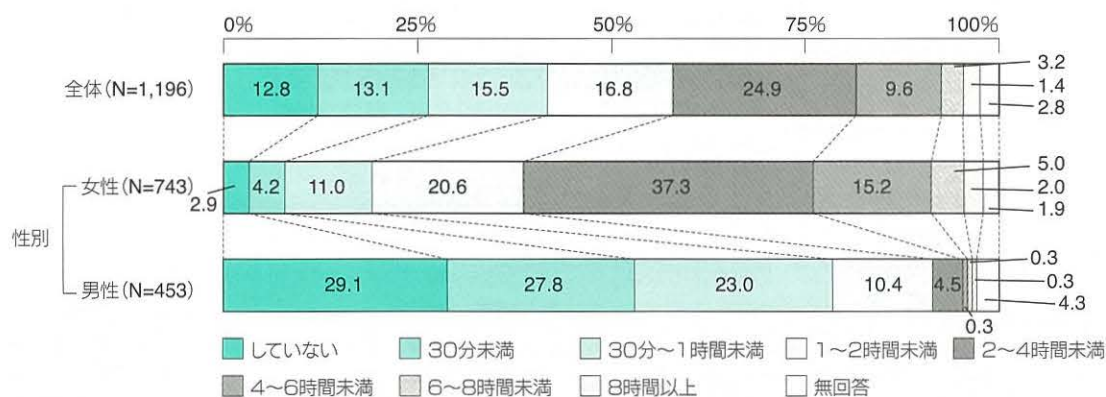
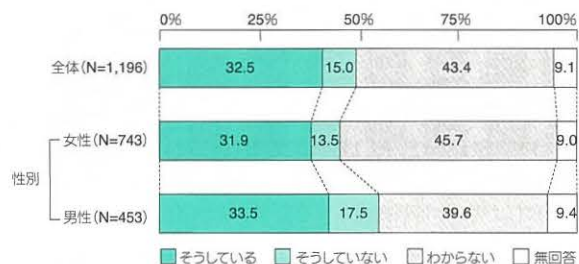


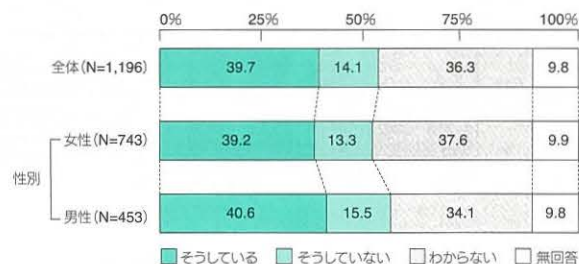
図-18 地域活動での男女の役割分担(現状)について

地域活動（自治会・校区コミュニティ組織の活動や子ども会・ボランティア活動など）での男女の役割分担について尋ねました。固定的性別役割分担意識や「ものごとの決定や代表は男性」といった慣習が依然として残っていることがわかります。

催し物の企画などは主に男性が決定している



地域活動は男性が取り仕切る

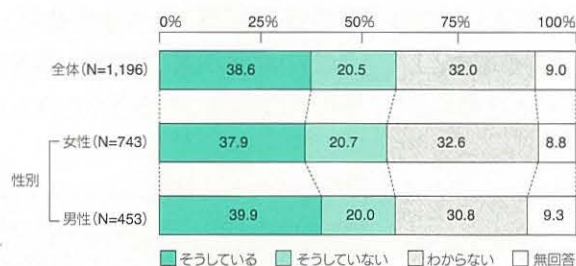


資料：平成26年 久留米市男女平等に関する市民意識調査

地域での集会の時には、女性がお茶くみや後片づけをしている



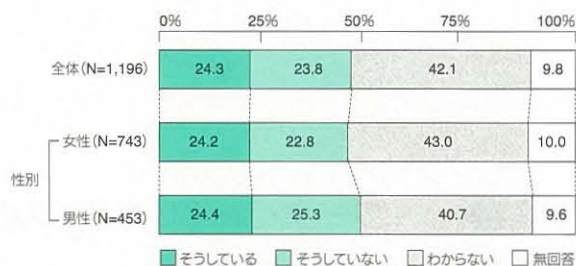
地域の役員はほとんど男性になっている



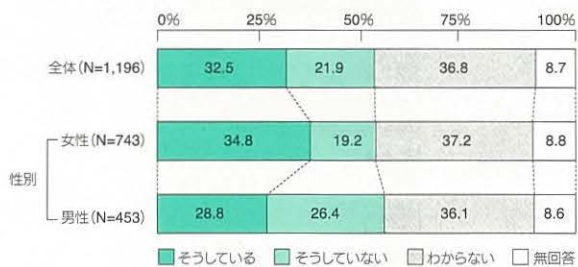
地域での集会では男性が上座に座る



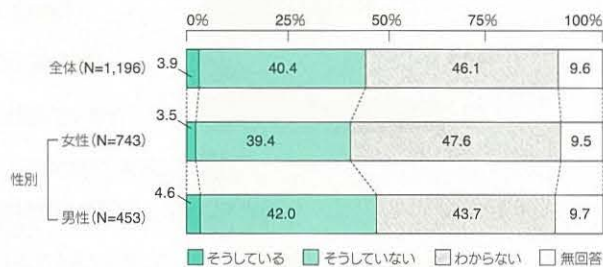
女性の発言が少ない



自治委員(隣組長)などの登録は男性(夫)だが、会議の出席は女性(妻)が出ることが多い



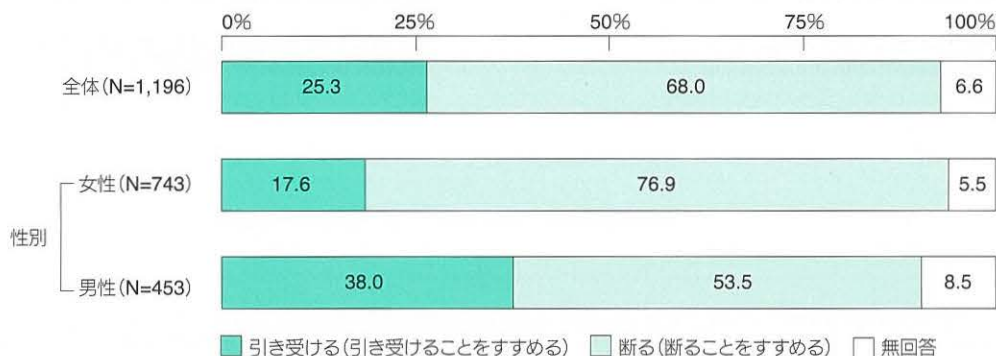
同じ作業に参加しても女性には出不足金がある



資料：平成26年 久留米市男女平等に関する市民意識調査

図-19 女性が地域の役職につくことについて

「断る」は女性 76.9%、「断ることをすすめる」は男性 53.5%で、女性の方が高くなっています。女性は断る理由として「知識や経験不足」「家事・育児や介護に支障」をあげる人が多く、自分自身が役職につくことを考えると、男性より慎重にならざるを得ない状況がうかがえます。

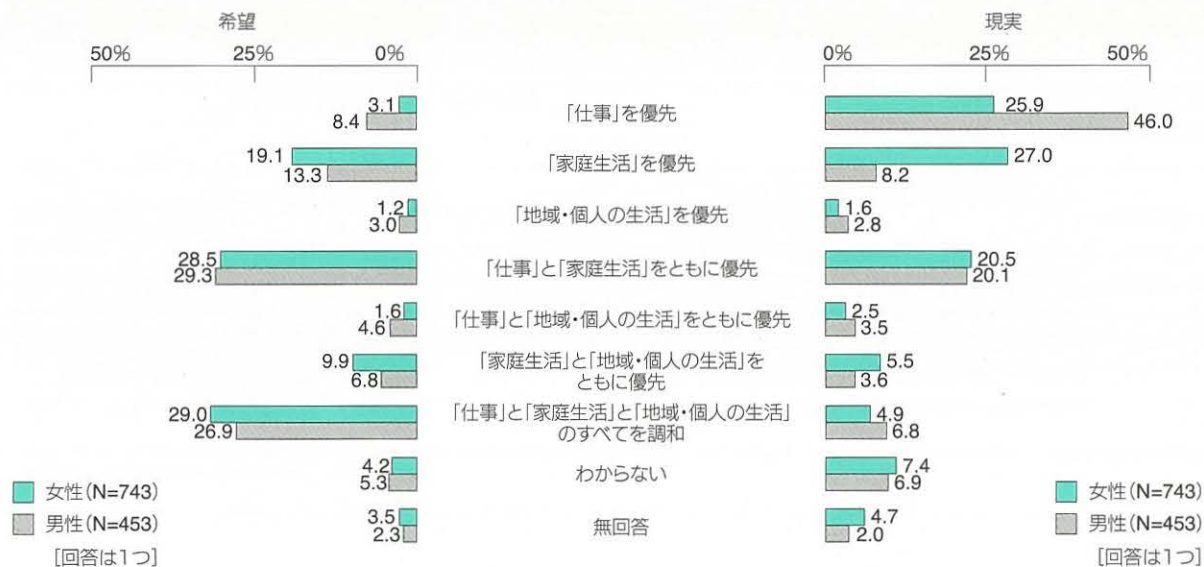


資料：平成26年 久留米市男女平等に関する市民意識調査

施策 5・・・ワーク・ライフ・バランスの実現

図-20 生活の優先度(希望と現実)について

普段の生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について尋ねました。女性も男性も「仕事と家庭生活優先」と「仕事と家庭生活、その他の調和」を希望していますが、現実では、男性の「仕事優先」が46.0%と特に高く、女性は「家庭生活優先」が高くなっています。固定的性別役割分担が、ワーク・ライフ・バランスの実現も難しくしていると考えられます。



資料：平成26年 久留米市男女平等に関する市民意識調査

図-21 男性の地域活動、家庭生活への参加のために必要なことについて

家事分担についての話し合い以外は職場や行政による取り組みが重視されていることがわかります。
男性が女性とともに地域活動（自治会・校区コミュニティ組織の活動や子ども会・ボランティア活動など）や家庭生活（家事・育児・介護など）へ参加しやすくするには、どのようなことが必要か尋ねました。

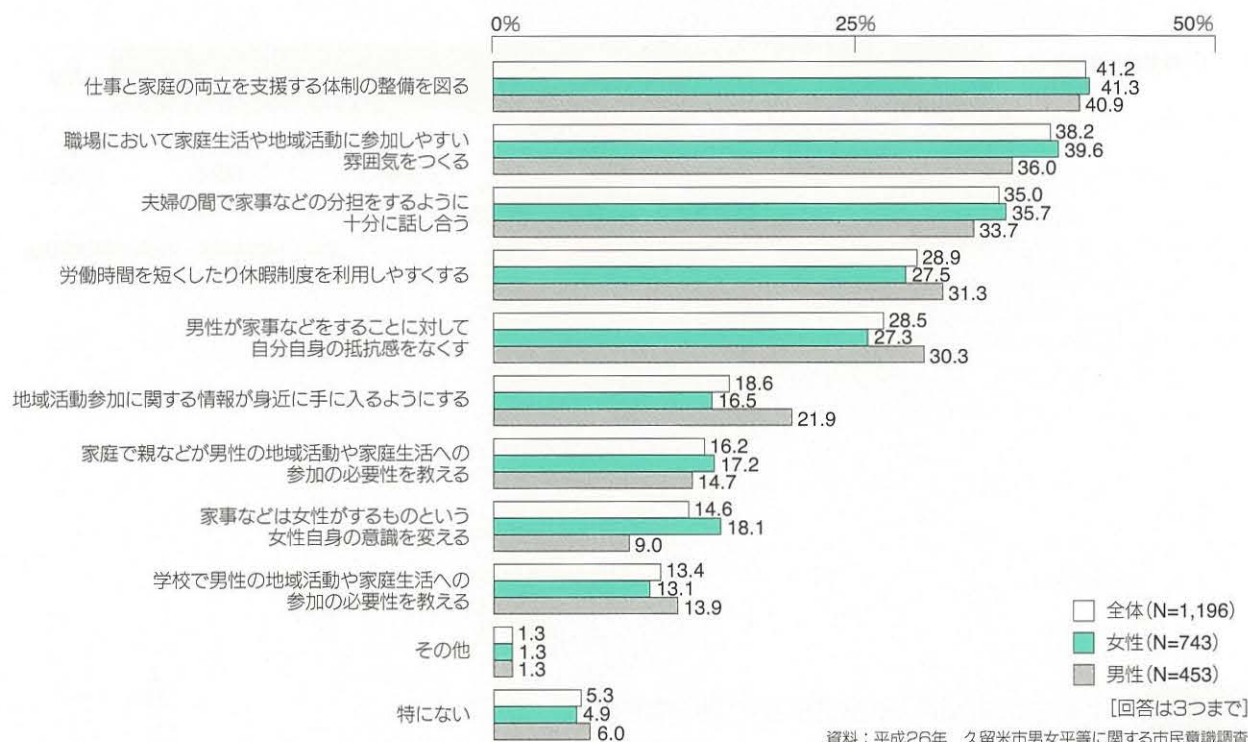
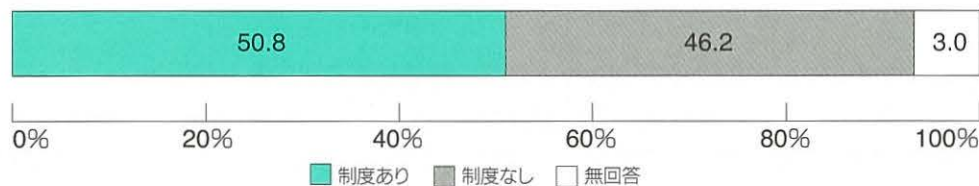


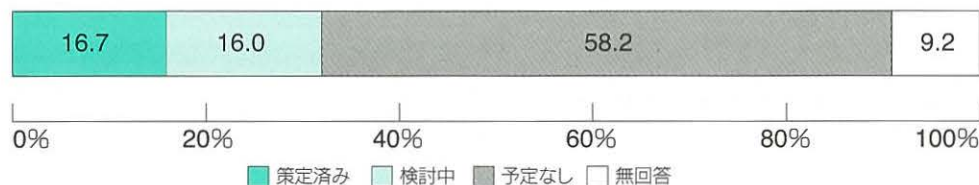
図-22 市内事業所の両立支援制度について



子の看護のための休業制度の有無



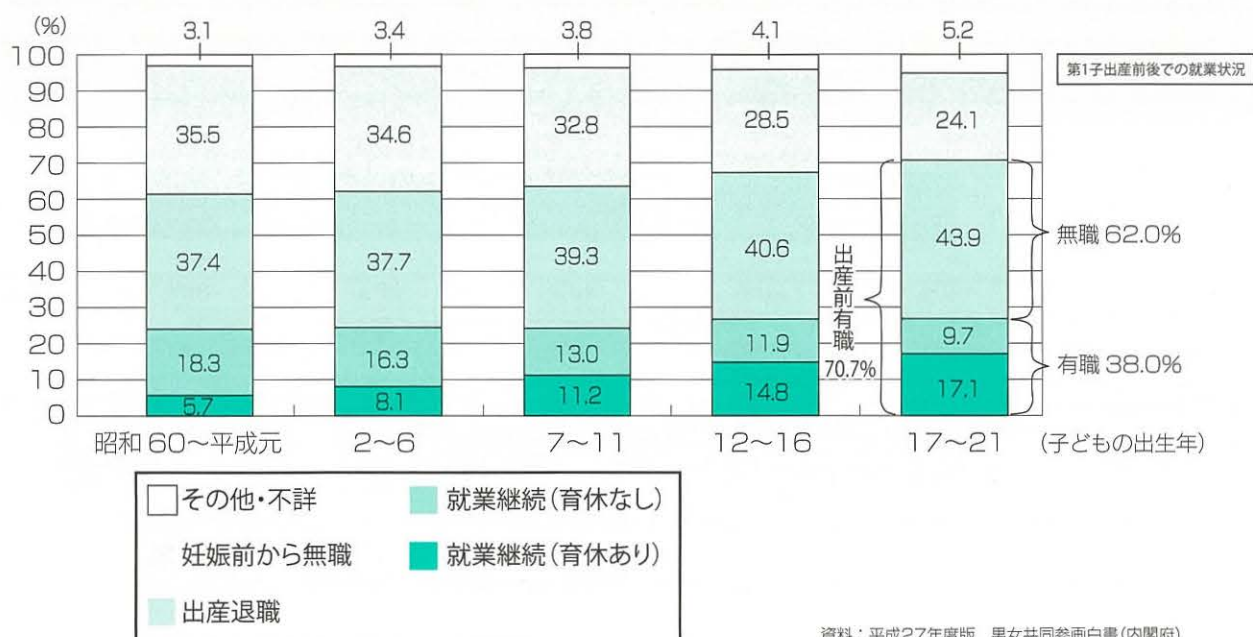
「一般事業行動計画」の策定状況



資料：平成26年度 久留米市雇用実態調査

図-23 子どもの出生別第1子出産前後の妻の就業経歴について

育児休業を取得する女性は増えていますが、出産前後に就業を継続する割合は増えておらず、6割以上の女性が出産を機に離職する傾向が続いています。

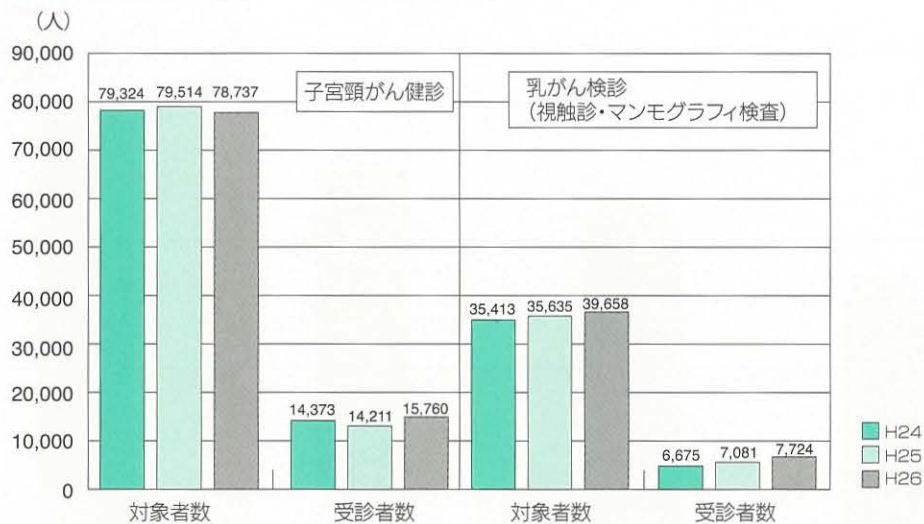


資料：平成27年度版 男女共同参画白書(内閣府)

施策の方向 Ⅲ 男女が自立し、生活できる社会環境づくり

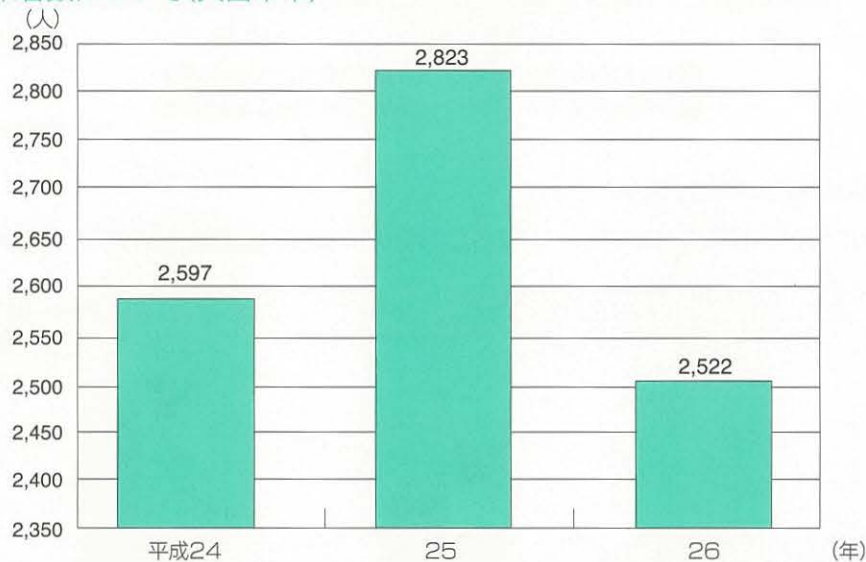
施策 1 生涯を通じた男女の健康支援

図-24 子宮頸がん・乳がん検診について(久留米市)



資料：平成27年版 保健福祉事業概要

図-25 性感染者数について(久留米市)



資料：平成26年 福岡県結核・感染症発生動向調査

表-2 自殺者数の推移

	久留米市					福岡県	全国
	人口 (人)	自殺者数 (人)	男性 (人)	女性 (人)	自殺率 10万対	自殺率 10万対	自殺率 10万対
H24	305,470	69	45	24	22.59	22	20.73
H25	305,933	57	40	17	18.63	20.96	20.47
H26	306,240	52	41	11	16.98	19.5	19.21

資料：久留米市保健所保険予防課

施策 2 ・・・ 困難を抱える人々が安心して暮らせる環境の整備

図-26 福岡県内母子・父子家庭世帯数の動向(推計)について

福岡県内の推計世帯数は、母子家庭は増加傾向、父子家庭は減少傾向にあります。

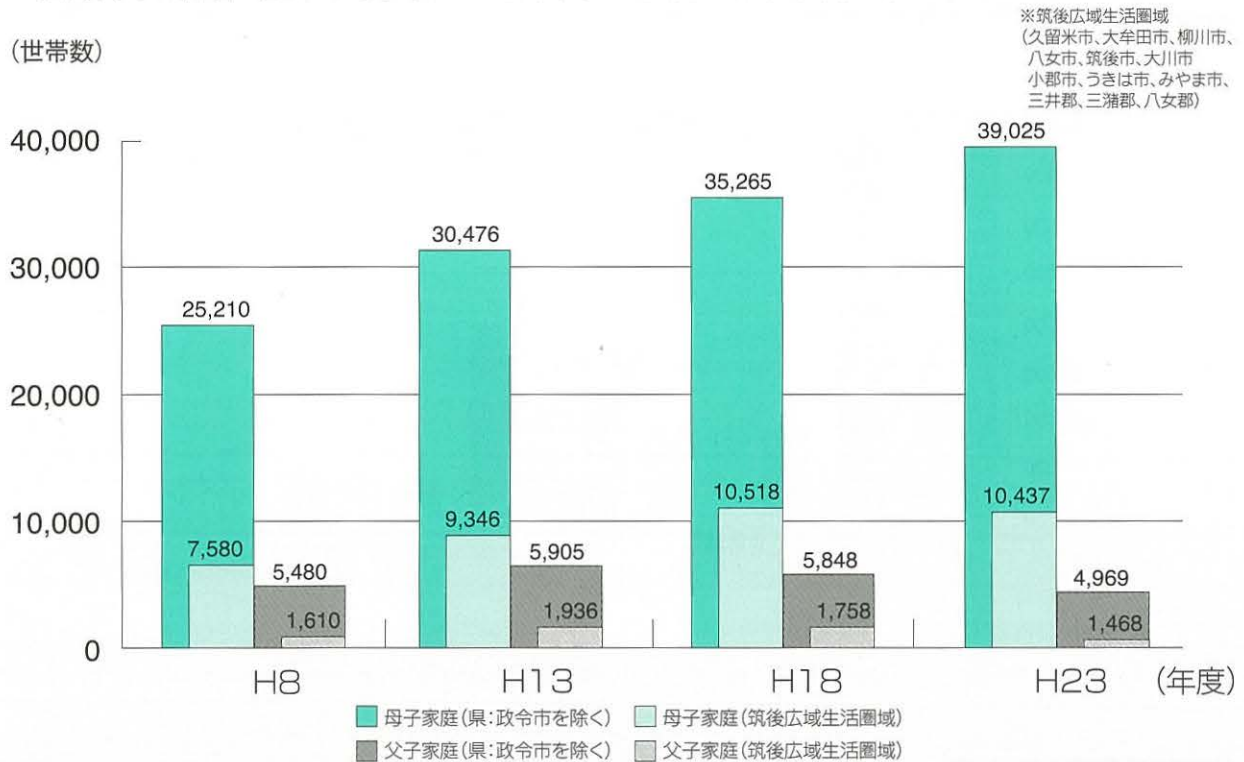


図-27 単身高齢者数の年次推移について

高齢化の進行に伴い、本市においても一人暮らしの男性・女性、高齢者夫婦世帯、高齢者数全て増加しています。

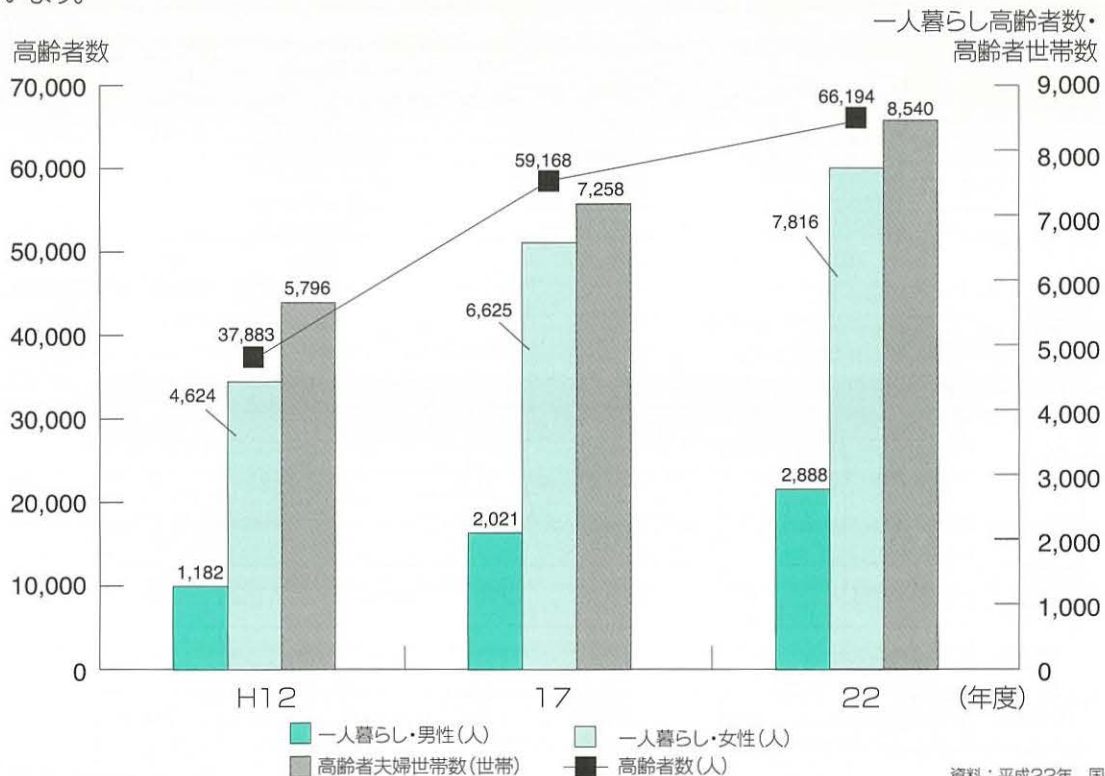


図-28 高齢化率の状況(国・県・市)について



図-29 外国人のための無料相談内容(平成26年度)について

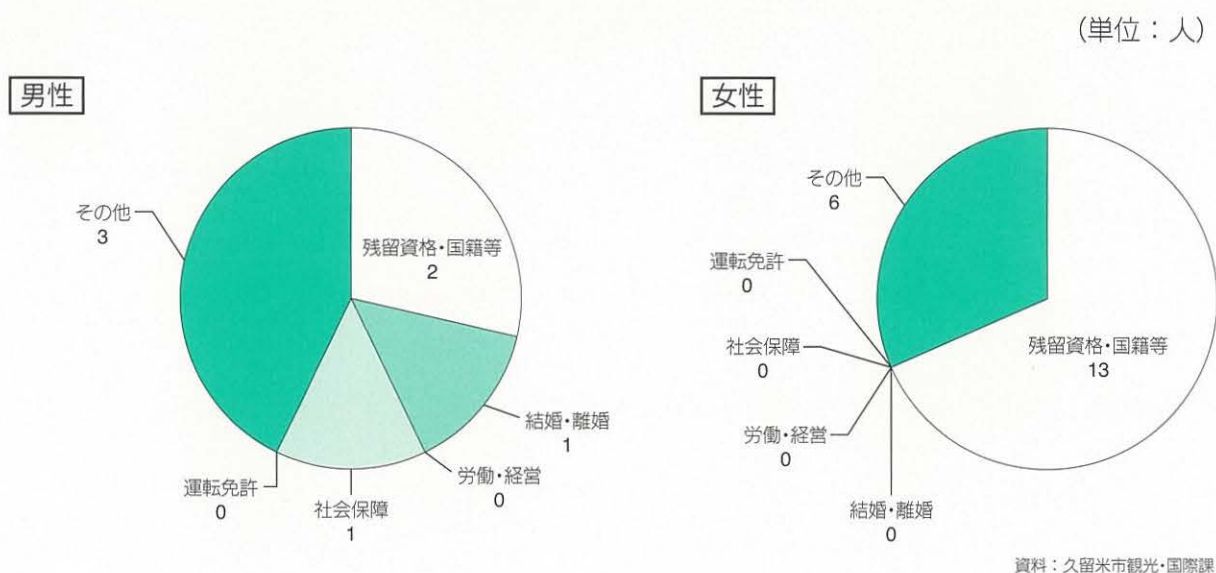


表 3 国籍別外国人登録者数

(単位:人)

年	総数	中国	フィリピン	ベトナム	韓国 及び朝鮮	ブラジル	アメリカ	インドネシア	その他
平成12年	1,573	344 (21.9%)	635 (40.4%)	4 (0.3%)	315 (20.0%)	2 (0.1%)	67 (4.2%)	32 (2.0%)	174 (11.1%)
17年	2,387	750 (31.4%)	771 (32.3%)	38 (1.6%)	313 (13.1%)	121 (5.1%)	73 (3.1%)	39 (1.6%)	282 (11.8%)
21年	2,517	1,123 (44.6%)	628 (24.9%)	35 (1.4%)	289 (11.5%)	136 (5.4%)	62 (2.5%)	34 (1.4%)	210 (8.3%)
26年	2,976	899 (30.2%)	886 (29.8%)	327 (11.0%)	267 (9.0%)	56 (1.9%)	47 (1.6%)	28 (0.9%)	466 (15.6%)

※各年12月31日現在
資料：久留米市市民課

